

受賞おめでとうございます

秋の叙勲(敬称略)

◇旭日単光章 渡部 作次

厚生労働大臣表彰(敬称略)

◇地域福祉活動功労者
鈴木 英明

東京都功労者表彰(敬称略)

◇地域活動功労
谷口 敏子

東京都赤十字奉仕団功労者表彰(敬称略)

◇金色有功章(20年以上)
影山 昭榮 萩原 千史 平林 圭子

◇銀色有功章(15年以上)

大矢 雅江 吉澤 洋子 佐藤 勝昭 渡邊 昌之
堀切 和辰 木村 雄二 伊藤 泰子 間宮 成子
間宮 千代子 松原 ミヤ子 中西 勝子 田中 静江
入野 タマ代 大津 榮子 平林 斐子 高野 千恵子

◇金梓支部長感謝状(10年以上)

石井 光香 星 美幸 藤原 凉子

◇銀梓支部長感謝状(5年以上)

池田 忠彦 鈴木 秀昭 石井 昌恵

モルック大会で新井宿のチームが快挙!



去る9月21日、第一回大田区区长杯モルック大会が蒲田一丁目公園で開催されました。各地域や学校から24チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられた中、優勝したのは大森第三中学校チーム、準優勝は新井宿五丁目町会青年部チーム、第三位は入新井第二小学校の先生チームでした。笑顔と声援があふれる一日の快挙におめでとう!

編集後記に代えて

本年8月11日(月)、私が所属する東京大森ライオンズクラブはフィリピンレイテ島ビリヤバに住む子どもたち約50名に、大田区立小学校卒業生(入二小、入四小、山王小にも協力頂きました)からお寄せ頂いたランドセルを昨年に引き続き贈呈しました。当地は第二次世界大戦激戦地の一つで、多くの日本兵の命が散華しました。遺骨や遺留品は今もこの地に多く眠っています。私は現地調査報告書を厚生労働省に提供し、一柱でも多くの遺骨や遺留品が祖国に帰還できるよう活動しています。私達の願いは、ランドセルという贈り物が子どもたちの学びを支え、より良い未来への一歩となることです。戦争で失われた命と、今を生きる子どもたちの笑顔、その二つを心に刻み、戦後80年の歴史を風化させず、日比両国の友好と平和を未来へと繋げていきたいと思っています。(三沢編集委員)

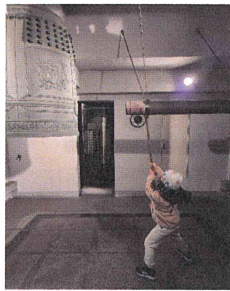


新井宿特別出張所管内の世帯と人口 令和7年10月1日現在

●世帯数…12,031世帯 前年同月比 -25世帯
●総人口…21,937人 前年同月比 -104人(男-60人 女-44人)
(男…10,895人 女…11,042人)

光教寺の除夜の鐘、レッツ・ゴーン!

池上通りを挟んでサミットの斜向かい、中央4丁目にある浄土真宗光教寺は、大晦日に除夜の鐘を撞きたい方には是非お勧めのお寺です。午後11時30分より、本堂でご住職の法話があり、その後に併設された光輪閣の4階にある鐘楼にて、どなたも除夜の鐘を撞くことが出来るのです。一階のお部屋では、温かいお汁粉と豚汁を用意して下さいます。一年の煩惱を取り除き、新たな気持ちで新年を迎えましょう。



観音通り商店街の美しき街灯!



観音通り商店街の約600メートルに亘って連なる合計42本の街灯は、年末から新年にかけて美しいイルミネーションで彩られます。その後は、入四小の三年生たちが描いたイラストの新しいフラッグが飾られるのです。可愛らしい力作のイラストを眺めながら歩けば、昼も夜も心に優しい灯がともることでしょう。

大森三中、大活躍中!

大森三中の吹奏楽部は、8月のコンクールにおいて代表14校に選ばれ、9月20日に開催された第65回東京都吹奏楽コンクール中学生の部で見事、銀賞を受賞しました。そして陸上部も区の28校が参加した大田区立中学校陸上競技大会の各競技において過去最高のトロフィー数を得るほどの大活躍でした。日頃の努力が報われた三中の生徒たちに大きな拍手を送りましょう。



発行 地域力推進新井宿地区委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会

中央一丁目町会	編集委員長	関口 直人
山王三丁目町会	副編集委員長	吉川 信一
新井宿五丁目町会	副編集委員長	谷口 敏子
山王三丁目東自治会	編集委員	荒木 秀樹
山王三・四丁目自治会	編集委員	三沢 清太郎
山王三・四丁目自治会	編集委員	岡本 浩子
山王三・四丁目自治会	編集委員	高橋 弘樹
山王三丁目町会	編集委員	小関 智子
中央一丁目町会	編集委員	形見 俊郎
中央四丁目町会	編集委員	佐々木 泰子
新井宿五丁目町会	編集委員	加藤 弘子
新井宿六丁目町会	編集委員	松木 由紀子
新井宿六丁目町会	編集委員	斉木 貞子
新井宿七丁目町会	編集委員	本田 君子

……共同編集……

監修 新井宿自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央1-21-6 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

わがまち Arai juku 新井宿

山王小学校祝100周年

山王小学校までの変遷

大正14年4月 東京府荏原郡入新井第三尋常小学校として開校
昭和7年10月 東京市入新井第三尋常小学校に改名
昭和16年4月 東京市入新井第三国民学校へ改名
昭和22年4月 火事(失火)により講堂以外、大半の校舎を消失
昭和24年2月 校舎復興
昭和28年4月 大田区立山王小学校に改名



7月9日には100周年記念児童集会が行われ、全校児童で作った巨大ケーキを前に校歌を歌ったり、山王小学校の歴史をクイズで振り返ったりしながら、100周年をお祝いする温かい時間となりました。

そして、8月30日には100年に1度のお祭り「山王小フェスタ」が開催され、2,594名が来場しました。オープニングセレモニーではオリンピック・熨斗谷さくらさんの開会宣言に合わせて200個の風船が鮮やかに青空を彩り、図書室では俳優・片桐はいりさんのスライド&トークで山王への思いを語るなど、卒業生の活躍も印象的でした。11月15日には記念式典及び祝賀会も開催されました。

令和6年度第100回の卒業生までの総計は15,652名。地域が支えて開校した山王小学校、これからの100年も、地域みんなで児童の成長を見守っていききたいですね。

100周年記念グッズ

PTAメンバーがデザインしたグッズが大人気でしたが、中でも100周年記念Tシャツは、山王の町で着ている人をよく見かけました。このTシャツの背中の9つの絵柄は、山王小学校や大森を象徴しています。



○ひつじのレリーフ

1年に1度だけ卒業式に開けられる桜門。その門柱には羊の彫刻が彫られています。山王小の開校のため、別荘地を提供してくれたのは、明治時代に外務大臣を務められた井上馨公爵です。そのため、井上馨公爵の干支である「ひつじ」が彫られたのだそうです。山王小の100年の歴史をすべて見てきた門柱です。

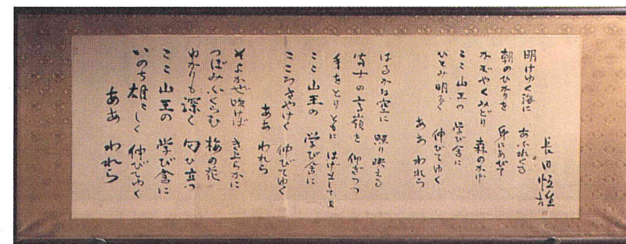


○土俵

山王小学校には、土俵があります。まだ戦争の記憶も生々しい昭和20年代後半ごろ、お子さんが在学していた地元の資産家から寄贈されたものとのことで、実に70年ほどの歴史を持つこととなります。東京都内の公立小学校で土俵があるのは10校にも満たないそうで、かなり珍しい施設と言えます。例年10月には、この土俵で「すもう大会」が開かれます。

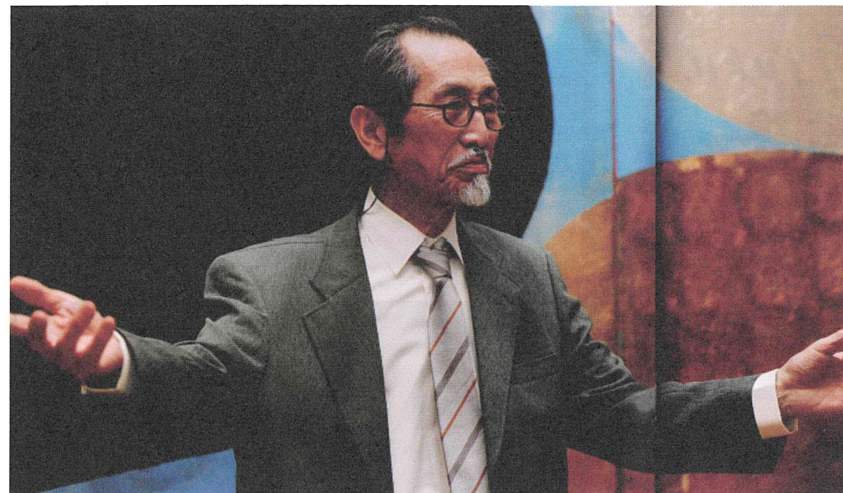


「はたらく消防車」
入四小 二年
ひろみ 睦人さんの作品



山王小学校と名前を変えた2年後、昭和30年につくられた二つ目の校歌「山王の学び舎」の歌詞は、依頼から2週間くらいで一気に書き上げられました。作詞した長田恒雄氏の書が現在も校長室に飾られています。作曲は「とんぼのめがね」で有名な平井康三郎氏です。





2007年 ロンドンのオクトーバー・ギャラリーにて挨拶する吉田堅治

●地域ゆかりの文化人 inochi

La Vie『生命』を描き続けた画家、吉田堅治

吉田堅治は、昭和26年から39年までの13年間、入新井第二小学校で教員を勤めていたので団塊の世代を中心に記憶にある方もおられることでしょう。図画工作の吉田先生が大きな声で話す関西弁を私はよく覚えています。春日神社の側道沿いのお宅で絵を教えていたり、山王二丁目にあった「大森画荘」という画材屋さんで絵画教室の指導もされていたのですが、東京オリンピックの頃に40歳になられた先生は単身で、フランスのパリに突然行ってしまったと知り、びっくりしたのです。年月が流れ平成22年(2010)、NHK総合テレビのドキュメンタリー番組『生命(inochi)～孤高の画家、吉田堅治』を偶然見て、先生の生涯を知り胸打たれたのです。(関口直人)



昭和30年5月 入二小の子供たちと

大正13年(1924)大阪府池田市で生まれ、池田師範学校(現在の大阪教育大学)に入り美術を学び絵を描きます。世の中は日々に戦時色が強まり軍国主義が強くなりましたが、先生方はそれに動ぜず人の歩むべき道を教えてくれたと、吉田は回想しています。

1944年、土浦海軍航空隊に入隊、神風特攻隊の訓練を受けます。その当時のノートに想いが綴られていました。「戦争とは?生とは?死とは?と自らに問う毎日。

いのちの尊さ、大切さを云いながら戦争はこれを打ち砕く行為。これを神が許すであろうかと強い怒りを覚えた」

乗る予定だったのは、グライダー特攻機「神龍」(じんりゅう)。木製の胴体に100キロ爆弾を積み、他の飛行機に曳航されて飛び上がり、過酸化水素の噴射エンジンで勢いをつけ滑空し、本土に上陸してきた戦車に突っ込むという捨て身の作戦だったのです。1945年、出撃することなく敗戦、翌年池田市立呉服小学校の教員となります。



グライダー特攻機「神龍」

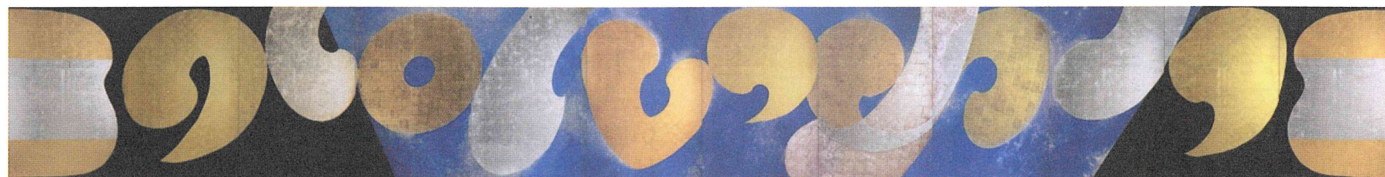
す。やがて画家を目指し上京、さらに単身パリに渡るのです。

パリでは、版画工房「アトリエ17」に入ります。

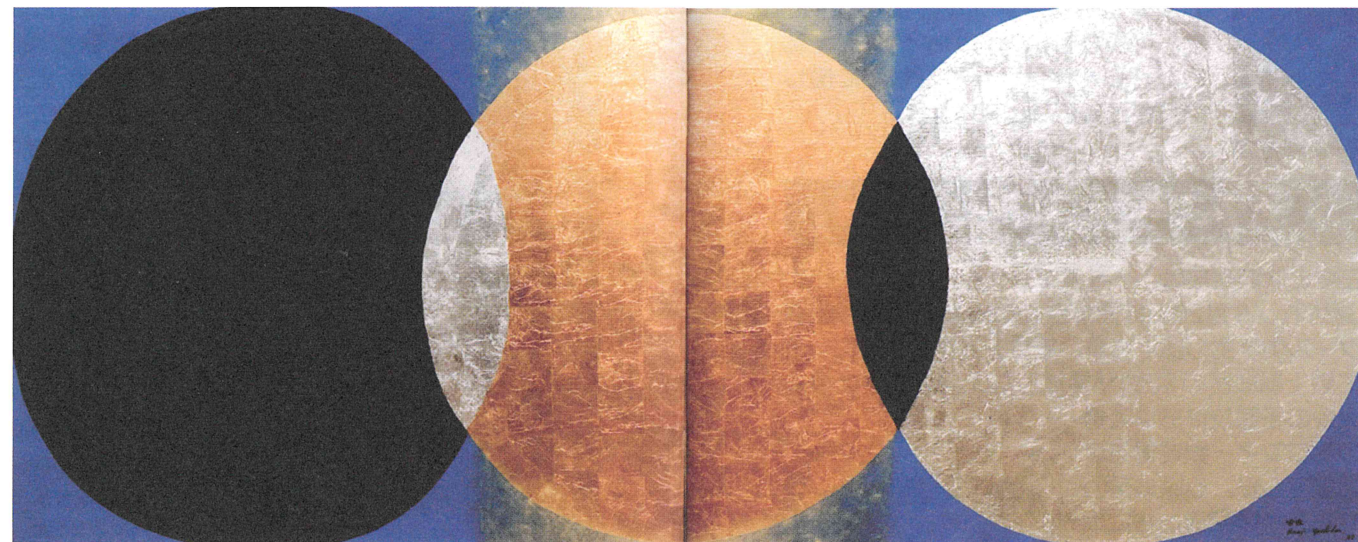
以前、ピカソ、ミロ、シャガールなどが作品を制作していた抽象版画の世界で、最も中心的存在でした。カラー凹版の表現力豊かな新技法を学びました。1972年、渡仏から8年して、フランス政府より認められ、

モンパルナスの芸術家向けのアトリエ付きマンションへの入居ができました。それを機に、画材店「大森画荘」を開いていた上原寛子をパリに呼び寄せて結婚。寛子の次女、淑子もフランス語を学ぶため渡仏し、一年半ほど三人で暮らしたのです。

結婚を契機に絵は彩り豊かになっていきました。この頃から全ての作品に『La Vie 生命(いのち)』というタイトルを付け、金箔や銀箔を使うようになります。寛子と帰国した日本で寺や神社を訪れた時に見た金箔銀箔の美しさに心奪われたのです。



1999年 La Vie (195×1,560cm) カンタベリー大聖堂などで展示され、祈りの場を作った作品



2008年 La Vie (130×324cm) (二枚のパネルを使用)

1986年、寛子が病のため帰らぬ人となります。吉田は日記に次のように綴っています。「寛子の死を境に生と死の境がなくなって、何か無限の広がる空間を持つように思われるようになった。それは表裏の関係ではなく渾然一体となってあるように思われる」

四年後にはメキシコに3カ月間滞在し、古代人の持つエネルギーと自然のダイナミックさに圧倒され、以後「マヤ・シリーズ」として、鮮やかな原色を使ったエネルギー溢れる作品を生み出していきます。

1993年、吉田の作品に注目した大英博物館が個展「La Vie」を開催。存命の日本人画家が大英博物館で個展を開くのは初めてのことでした。開催を推進したローレンス・スミスは、「吉田は光の作家だ。その作品は宇宙そのものを表している。なんとも吉田を世界に紹介したいと思った」と回想しています。

2001年9月にアメリカで同時多発テロが起きると、戦争の影に心を痛め、自らの絵で祈りの場を作りました。12枚の「La Vie」を8角形に囲み、カンタベリー大聖堂やノリッジ大聖堂の教会に展示し、外側には祈りの言葉、内側には般若心経と聖書を置いたのです。展示の際の挨拶で、吉田はこう語っています。「今も世界のあ

ちらこちらで戦争をしています。テロの行為もあって一般の人々がたくさん死んで行きます。私はそれが大変胸にこたえます。その人たちの冥福を祈らざるを得ません」

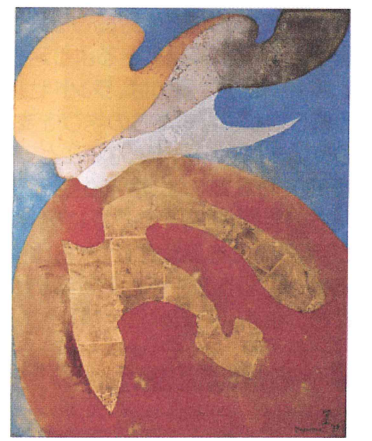
2009年2月24日、ガンのため死去。84歳。パリのモンパルナス墓地に寛子と共に眠っています。墓碑に刻まれた法名「釈蒼空」と「釈尼華雲」は、寛子が亡くなった時、吉田自らが墓石に彫ったそうです。

パリに渡ってから亡くなるまでの44年間、吉田が書き続けた日記には、こんな言葉があります。「人々が一番大切に思うのは『いのち』と『平和』だ。これを打ち砕く最悪の行為が戦争だ。あってはならぬ。いのちは平和あってこそ輝く。平和こそ最高の美である」



【吉田堅治 - 生命を描き続けた画家の生涯 -】

15分43秒の映像を是非ご覧ください。娘の富樫淑子^{きよこ}さんが、父への尊敬と愛情を込めて制作された作品なのです。



1993年 La Vie (92×73cm)